

報 告

2016年2月21日

新島会館

2016年度 翔友会 総会

次 第

司 会 瀬川 貴之

- | | | |
|---------------|-------|--------|
| 一 黙禱 | | |
| 二 会長挨拶 | 翔友会会長 | 大久保 雅史 |
| 三 航空部部長挨拶 | 航空部部長 | 山口 博司 |
| 四 議事 | 議事進行 | |
| 1. 本年度新入会員紹介 | 監督 | 森川 泰 |
| 2. 航空部現況報告 | 監督 | 森川 泰 |
| 3. 2015年度活動報告 | 主将代行 | 竹葉 智己 |
| 会計報告 | 会計 | 松崎 里香 |
| 4. 翔友会 | | |
| 2015年度活動報告 | 会長 | 大久保 雅史 |
| 会計報告 | 会計 | 瀬川 貴之 |
| 2016年度活動方針(案) | 会長 | 大久保 雅史 |
| 予算(案) | 会長 | 大久保 雅史 |
| 5. 支部活動報告 | 関東支部長 | 宮原 幸春 |
| 6. 80周年事業 | 会長 | 大久保 雅史 |

以上

翔友会会計報告

(2015.1.1～2015.12.31)

収入の部		支出の部	
前期繰越	314,522	翔友発行費・発送費	128,484
会費・賛助金(のべ 81 名分)	810,000	総会費	276,719
総会会費(24 名)	240,000	学連カレンダー購入費(2015 年版)	75,000
寄付	10,000	全国大会奨励金	100,000
翔友会カードインセンティブ	19,858	搭乗奨励金	0
プラモデル・雑誌代	34,500	AION(JA2096)整備費援助	0
利息	9	スポーツユニオン分担金	30,000
		通信費	60,366
		文具雑品印刷費	33,498
		慶弔費	9,276
		各種手数料	4,720
計	1,428,889	計	718,063
		次期繰越金	710,826

次期繰越金内訳

現金	1,910
普通預金	312,764
ゆうちょ銀行振替	396,152

翔友会財産目録

(2015. 12. 31現在)

現金	1,910 円	翔友会会計 次期繰越金
普通預金(みずほ銀行出町支店)	312,764 円	"
ゆうちょ銀行振替口座	396,152 円	"
通常貯金(ゆうちょ銀行)	1,000,000 円	小野基金
	52,654 円	果実
普通預金(みずほ銀行出町支店)	1,375,202 円	60周年余剰金
合 計	3,138,682 円	

2016年度 翔友会予算 (案)

収入の部		支出の部	
前期繰越	710,826	翔友発行費・発送費	130,000
会費・賛助金(のべ80名分)	800,000	総会費	50,000
翔友会カードインセンティブ	30,000	学連カレンダー購入費(2016年版)	100,000
寄付	30,000	支援金	500,000
利息	9	AION(JA2096)整備費援助	150,000
		スポーツユニオン分担金	30,000
		スポーツユニオン統一名簿広告費	60,000
		スポーツユニオン統一名簿購入費	5,000
		通信費	70,000
		文具雑品印刷費	40,000
		慶弔費	20,000
		各種手数料	5,000
計	1,570,835	計	1,160,000
		次期繰越金	410,835

2016年度 翔友会活動方針（案）

先程の報告の通り、現在の同志社大学体育会航空部はあってはならない事態となっております。栄枯盛衰は世の常ではありますが、翔友会の方針を考えながら何故今回の様な事になったのか、抜本的な対策を講じないと航空部のひいては翔友会存続の意義もなくなるのではないかと危惧をしております。

長い時間の経過とともに徐々に変化が生じ、規律、組織、指揮、継承、伝統などが変わったのでしょうか？ 翔友会の課題もこの点にあるのでしょうか？ 取り急ぎは、現在の航空部の置かれている状況に対処する為の協力と支援に、まずは取り組まなければと考える次第です。

今後、航空部の現状を早く元の状態に戻すために、翔友会の全面的な支援が必要と考えますので、何卒皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

航空部が今後も活動を続けるならば、今年度予算のカットは必然です。財政支援に始まる協力を行わなければなりません。その対応については、従来の翔友会の活動に加え、さらに OBOG が結束しなければなりませんので、皆様のご協力を重ねてお願いいたします。

翔友会の今後の活動は、従来にも増して、各年代の OBOG 方の結束を強め、航空部の再出発に協力できる活動を行っていかねばなりません。

現状の航空部の自主的な正常化に、如何に協力して行くか、翔友会の真価が問われるときだと考えています。

先日の幹事会でも議論されました、ジェネレーションギャップを如何に埋めるかが最重要課題と考えます。自分達の時代と今の時代のギャップは有って当然です。これを一方的に否定せず、それぞれの年代が絶対譲れない部分もあるでしょうが、受け入れるべきは受け入れ、協調して全体最適に翔友会を運営する事が重要だと考えます。今回の事態に直面し、従来の考え方とやり方では駄目だと考えるのですが、皆さまは如何でしょうか。

今回の総会では、皆様にこの課題を十二分に議論いただき、一番良い方法と考えられることを実行して行きたいと考えます。

甘やかすな、いやそうではない現実が判ってない、われわれの時代は、今の若い学生は等々の議論を行ない、方向性をしかと確認しないと、平行線を辿っている状態ではないのかと考える次第です。

2016年度の方針につきましては、今回の事態に鑑み、いつもとは違う形で皆様からのご意見をお聞きし、それをもって活動方針とさせて頂きたく宜しくお願いを申し上げます。

基本は従来通りの方針を実行して行きたいと考えますが、確実に具体的に実行していくためには、実行責任者を決めなければなりません。皆様にご協力をお願いする次第です。

其々に実行責任者を選任し、従来のPJ目的をより確実に進めてまいりたいと考えます。参考に翔友会組織図をご覧ください。今回の現役航空部の件もございしますが、翔友会の従来からの課題でもあ

り、抜本的な対策の若い OBOG 方の翔友会への参加・協力が不可欠です。各幹事方の働きかけで、平成卒業以降の OBOG 方の参加で、同志社大学体育会航空部が発展できる様に世代交代を進めてまいりたいと考えます。

新 OBOG の参加が朗報であります、具体策につきましては有効な手立てがありません。各年代の方々が、日常的に接する機会を出来るだけ多く作る事につきます。現役とはミーティングで、卒業生にはメール、電話、郵便等と新年会・忘年会などの行事になると考えますので、各幹事の方に置かれましては少なくとも同期の方とそして先輩、後輩との結びつきを持ち強めていただくようご努力をお願いいたします。

実行責任者は各幹事ですが、実際に活動できてない幹事も散見されますので、坂田副会長の後任も含め見直しを行います。プロジェクトにつきましても、担当者ではなく遂行責任者と言う形でご協力を頂きたいと考えます。

今年の創部 80 周年の行事を秋に実施するために、三田村 OB に実行委員長をお願いし進めて頂いています。現状流動的な状態ですが、先のジェネレーションギャップを埋めるまたとない機会でもありますので、先輩後輩への声掛けなど皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

以下現役航空部の支援を行っていく方法としましては、従来通りの施策となりますが、現状はなかなか実行に移せないのが実情ですので、先程申しました通り責任者を決めて今年は進めていきたいと考えます。

1. 翔友会の継続的發展に必要な若い OBOG 方の協力を得るにはどうするか。
2. 創部 80 周年の行事を実施するならば今後の進め方を決める⇒三田村委員長に依頼。
3. 金銭的支援は従来にもまして必要になるのでどうして賄うか。
4. 資金力強化を実現する為に翔友会費とは別に OBOG 方へ寄付のお願いをする。
5. 大学学生課、スポーツ支援課、スポーツユニオン、アトムとは関係強化を継続する。
6. 現役部員の搭乗不足を補うために如何するか現状での具体策。
7. 東海・関西学連の自立化を安定的に継続し学生の負担減の為に OBOG がボランティアで協力してゆく。
8. 現役指導育成の支援として幹部の業務内容の確認・引継ぎの指導を具体的に責任者を決めて進めていく。
9. 年間行事予定
 - ①翔友会総会、幹事会・P J 会、合宿・競技会応援、オリエンテーション支援、体験搭乗会の支援、新勧コンパ、OB 体験搭乗会、OBOG 親睦会等、慶弔、その他行事会合。
 - ②ユニオン総会年二回、各幹事会、記念事業その他会合、名簿発行、ユニオン・校友会ゴルフ、ユニオン支部会議、慶弔及び会合。

以上

2015 年度 活動報告

2016 年 2 月 21 日

同志社大学体育会航空部

主将 西原優作

HP : <http://doshishaaviationclub.web.fc2.com/>

実施合宿

日程	大学	場所	発数
05/23(土)~05/25(月)	同志社単独	木曾川滑空場	総発数 145 発
06/06(土)~06/07(日)	同志社単独	大野滑空場	総発数 84 発
06/20(土)~06/21(日)	同志社, 福井大学	木曾川滑空場	総発数 62 発
07/04(土)~07/05(日)	同志社単独	大野滑空場	中止
08/08(土)~08/10(火)	同志社, 名工	福井空港	総発数 29 発
08/26(水)~08/30(日)	同志社, 立命館, 神戸	福井空港	火災の影響で中止
09/05(土)~09/11(金)	同志社, 名城, 南山	木曾川滑空場	総発数 117 発
10/26(月)~10/30(金)	関関同立戦	大野滑空場	総発数 55 発
11/24(火)~11/30(月)	トレセン	妻沼滑空場	
12/12(土)~12/13(月)	同志社単独	木曾川滑空場	総発数 109 発
01/16(土)~01/17(日)	同志社単独	木曾川滑空場	総発数 86 発
02/16(火)~02/19(金)	同志社, 名工	木曾川滑空場	合宿自粛
03/19(土)~03/22(火)	同志社, 龍谷	木曾川滑空場	総発数未定

総発数

木曾川滑空場 : 519 発 大野滑空場 : 139 発 福井空港 : 29 発 合計 : 685 発

現状報告(2016/01/31 時点) (括弧内は前年度比)

【部員数】 4 回生 : 6 名 3 回生 : 4 名 2 回生 : 10 名 1 回生 : 11 名 計 31 名(+3)

【技能証明取得者】 2 名(±0) 井上翔太(4 回生), 松本真奈美(4 回生)

【教育証明コース】 3 名(+2) 井上翔太(4 回生), 三木嶺(2 回生), 小林勇輝(2 回生)

【ウインチオペレーター】 1 名(+1) 嵯峨根育斗(4 回生)

【ハウトレ牽引認定者】 2 名(-1) 川上樹(4 回生), 嵯峨根育斗(4 回生)

2015年度 体育会会計報告(収支計算書)

2015年1月1日～2015年12月31日

収入		支出	
勘定科目	金額(円)	勘定科目	金額(円)
前期繰越金	71,412	試合費	224,050
大学補助金(大学配分補助金)	380,000	合宿費	341,999
大学補助金(スポーツ特別補助金)	311,000	交通費	531,520
個人負担金	1,025,624	保険料	161,630
部費	924,000	維持費	340,369
寄付金	231,709	用具購入費	216,571
体育会費	99,000	印刷費	640
ユニオン終身会費	40,000	事務費	3,808
特別収入	49	消耗品費	43,556
		通信費	13,036
		手数料	10,692
		備品費	79,940
		資料費	33,390
		連盟費	448,000
		コーチ謝礼費	165,366
		ユニオン終身会費	40,000
		体育会費	105,000
		キャンプ代	117,000
		特別支出	127,998
		次期繰越金	78,229
合計	3,082,794	合計	3,082,794

